

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 港が丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

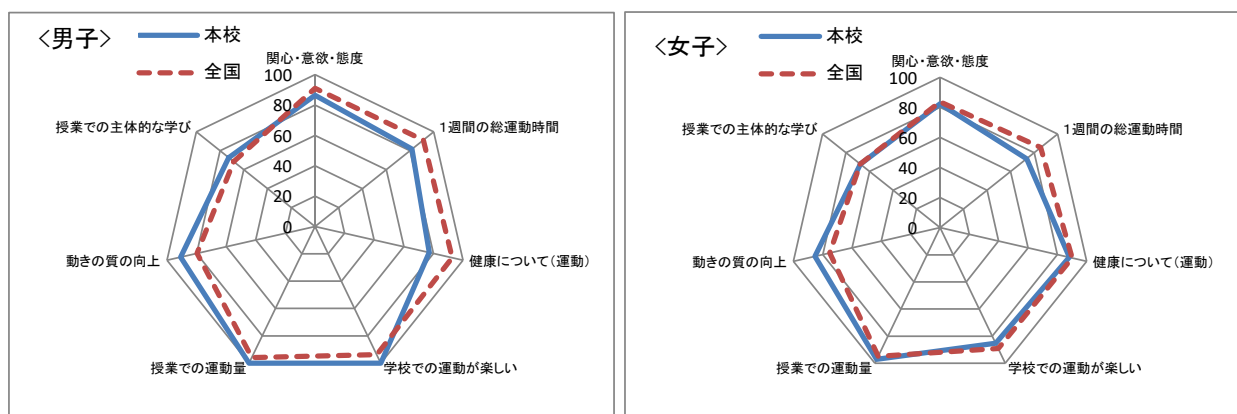
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

「Q11. 体育の授業では、たくさん運動する」「Q12. 体育の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感することがある」について、男女とも全国の結果よりも大きく上回っていた。これは、授業の工夫改善が進んでいるからと思われる。また、運動やスポーツをすることの大切さが浸透しているといえる。しかし、1週間の総運動時間については全国の結果より下回っていた。今後、運動をする機会を多く作り、課題解決に向けて取り組んでいきたい。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体力向上推進部や体育主任が中心となり、以下の点について視点を示し児童の豊かな体や体力の形成を図る。
・体力向上のため、体育の授業の中で「北九州市体力向上プログラム」を活用し習慣化できる運動や全校で動画等を活用し姿勢体操や体幹トレーニングに取り組む。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

本校は1校1取組として、毎日の姿勢体操や体幹トレーニング、体カトレーニングを全校一斉に行っている。次年度も引き続き行うが、内容を少しずつ児童の実態に合わせてバージョンアップさせたい。また、体力アップを紹介したプリントを家庭に配布して、毎日の宿題の一つとして体カアップ運動の課題を出すことも継続する。